

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

「地域コミュニティの活性化」 研究プロジェクト中間報告

平成23年8月3日
リーダー県：青森県
山形県、福井県、島根県、高知県

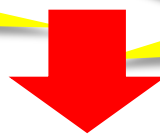
I プロジェクトの目的

地域コミュニティの現状

これまで地域コミュニティが果たしてきた役割

冠婚葬祭、雪下ろし・草刈りなどの共同作業、自然環境の保全、伝統文化の継承、地域防災など

人口減少



少子化・高齢化

● 地域の担い手が不足

● 相互扶助や人と人とのつながりの希薄化

● 従来行われてきた共同作業や伝統文化の継承が困難

地域におけるコミュニティ機能が著しく低下

なぜ地域コミュニティの活性化なのか

このままでは・・・

地域社会の活力衰退が懸念される



持続可能な活力のある

地域社会を形成するためには・・・

最も身近な社会活動の単位である

地域コミュニティの活性化が不可欠

各地域コミュニティで起きている問題

中山間地域等

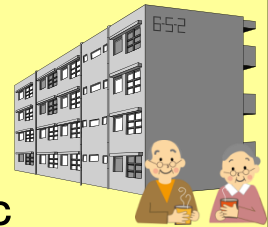
- ◎点在する小規模集落
- ◎過疎化・高齢者の増加
- ◎生活交通手段の確保
- ◎買い物弱者の発生
- ◎休校・廃校の増加
- ◎農業・漁業の後継者不足
- ◎耕作放棄地の増加
- ◎里山の崩壊



etc

都市部

- ◎商店街での空き店舗の増加
- ◎商店の後継者不足
- ◎県営住宅・団地等における高齢(単身)世帯の増加
- ◎民生委員等の高齢化
- ◎生活交通手段の確保
- ◎高齢者等の孤立化 etc



■テーマ1

安全・安心な地域づくりによるコミュニティの活性化

～生活支援・地域福祉の観点から～

- 視点① 買い物支援・生活交通
手段の確保
- 視点② 高齢者の安全・安心への配慮

■テーマ2

中山間地域と都市部の連携によるコミュニティの活性化

～産業・雇用の観点から～

- 視点① 地域資源を活用した
コミュニティビジネスなど
- 視点② 中山間地域と都市部の
交流促進

■テーマ3

地域コミュニティの活性化を実現させるための仕組みづくり

- 視点① 地域内住民の連携や多様な主体との連携・協働のあり方
- 視点② リーダーとなる人材の育成・発掘
- 視点③ 行政相互の連携

Ⅱ 研究テーマ1

安全・安心な地域づくりによるコミュニティの活性化

～生活支援・地域福祉の観点から～

✦ 視点① 買い物支援・生活交通手段の確保

■ 現状と課題

生活物資の確保が困難

・・・高齢化や人口減少などの影響で、身近な場所から商店等が撤退する地区が増え、食料品など日常の買い物が困難な状況に置かれている「買い物弱者」が全国で、高齢者を中心に600万人程度と推計される。

生活交通手段の確保が困難

・・・高齢で車の運転が困難なお年寄りも増加しており、買い物・通院のための交通手段の確保が困難になりつつある。また、乗合バスの多くは利用者減少で収支が悪化し、路線の廃止や運行本数の減少が進んでいる。

住み慣れた地域で生活を続けられるように支援や対策を講じる必要がある。

✦ 視点① 買い物支援・生活交通手段の確保

■ 取組事例

<p>移動販売・配達サービス、 御用聞き販売 など “届けよう”</p>	<p><u>○高齢化集落での移動販売への支援</u> ……取組事例1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や商工会による商品配達サービス ○民間宅配会社と連携した商品宅配サービス ○集落のNPO団体による移動販売・声掛けシステムの構築 ○量販店による高齢化が進む旧団地等のエリアを対象とした送迎サービスの実施 ○生活物資を確保する仕組みづくり等を後押しするための市町村への支援
<p>共同店舗 など “作ろう”</p>	<p><u>○住民が作った株式会社(JA支所からの経営受継)</u> ……取組事例2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃校を活用した集落生協の整備、運営
<p>オンデマンドバス・ ボランティア輸送 など “出かけやすく”</p>	<p><u>○自治会輸送活動</u> ……取組事例3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいのりタクシー制度 ○コミュニティタクシー・複数市町村で運行する乗合タクシー ○住民NPOによるコミュニティバスの運行 ○住民ボランティア輸送 ○地域におけるデマンド型交通システムの導入検討への支援 ○市町村が取り組むデマンド型交通運行維持改善に対する支援

■ (取組事例1) 高齢化集落での移動販売への支援(福井県)

福井市内の高齢化集落(65歳以上が住民の半数以上を占める集落)において、新たに週1回以上移動販売を実施する事業者に対し支援

事業の概要

対象集落 福井市国見岳周辺の高齢化集落(17集落、約200世帯)

事業期間 平成22年7月から平成24年3月まで

事業者 福井県民生活協同組合

支援内容 **①移動販売の人件費負担、②移動販売車両の整備**

(上記事業者については、新規車両整備の必要がなかったため②はなし。)

実績 約5割の世帯が移動販売を利用



主な利用者の声

- ・一人暮らしで健康面の不安もあるが、移動販売が定期的に集落に来て、家まで声をかけに来てくれるので、これからは安心。
- ・買い物は息子に頼んでいたが、移動販売では自分で商品を選べるので楽しい。
- ・バスで買い物に行くと時間がかかるので、アイスクリームなどが買えないが、移動販売なら冷たいものも買える。

買い物手段確保によるコミュニティの維持・活性化

■ (取組事例2) 住民が作った株式会社(高知県四万十市)

株式会社 大宮産業

地域の唯一の店舗であった農協の事業所の撤退後、その購買事業を引き継ぐために、地域住民が出資し株式会社を設立。高齢者への宅配サービスや感謝祭など、地域の実情に合わせた経営を行うことにより、住民の暮らしを支えている。

取組の概要

3集落 299人(137世帯) 高齢化率 46%

■ みんなで作った株式会社

平成18年5月、地域住民(105人 資本金700万円)が出資して(株)大宮産業を設立し、農協の購買事業を引き継ぐ。

→商店、ガソリンスタンドの運営
(平成17年10月 JAはた大宮出張所の廃止決定)

■ 地域に根ざしたユニークな経営

- ・高齢者のための無料宅配サービスの実施
- ・感謝祭、土曜夜市などの催しもの実施
- ・店舗内に住民が集える「談話室」の設置
- ・大宮米(減農薬米)のブランド化による販売促進
- ・ポイントカードの導入



みんなで作った会社「大宮産業」



地域の暮らしを支えるガソリンスタンド



住民サービスの一環としてはじめた無料宅配サービス



真剣に議論する年1回の株主総会の模様

住民が全員、力を合わせ、
地域で暮らし続けるための知恵を結集!

■(取組事例3)自治会輸送活動(島根県飯南町谷地区)

県・市町村・地域住民が一体となり、新たな輸送活動のモデルを構築(H21)

県



市町村



補助金

- ・バス、タクシー事業者等との調整
- ・車両の無償貸与

取組の概要

地区の人口は250人余(約90世帯)、高齢化率は47%

- ・地区内でも特に厳しい状況にあった谷地区住民の移動手段を確保するため、平成21年8月から輸送活動を開始。
- ・必要な経費は自治会費から・利用者は実費のみ。車両は市町村が無償貸与。
- ・運行日時は土日祝を除く平日の原則として9時～18時。
- ・運転者は自治会会員12名。
- ・3日以上前に予約するデマンド型で、予約の受付は地域内の谷公民館が対応。

自治会等

自治会等活動の一環としての輸送活動

高齢者等利用者
(会員)

運転役務の提供

運転者
(会員)

利用者
登録

実費支払

200円(ガソリン代等)

登録

謝礼
400円

自治会等事務局 (会員)

- ・運行計画の立案
- ・利用者、運転者の登録
- ・車両の維持管理
- ・実費の收受、運転謝礼の支払い 他



会費の納入

会員

会員

● ● ●

会員

会員

地域が自ら主体となる新たな輸送活動

✦ 視点② 高齢者の安全・安心への配慮

■ 現状と課題

命にかかわる不安

・・・人間関係の希薄化や高齢単身世帯の増加により、高齢者の孤独死が増加し、安否確認の必要性が増している。一方で、民生委員など安全・安心の担い手も高齢化が進んでいる。

また、地震や台風、大雪など自然災害が発生した場合に、地域コミュニティが対応できないのではないかという不安が大きくなっている。

楽しく生活するために

・・・高齢者が他の世代に支えられるだけではなく、高齢者自身も地域を支えていく担い手として活躍するために、健康で元気に生活することが重要である。

高齢者が安全・安心に暮らすことができる仕組みを早急に構築する必要がある。

✦ 視点② 高齢者の安全・安心への配慮

■ 取組事例

高齢者の見守り ・防災など

- 県、社会福祉協議会と地元新聞社等民間事業者との見守り協定の締結 ……取組事例1
- 住民と市・県による「協働一斉除排雪」 ……取組事例2
- 地域おこし協力隊、集落支援員による高齢者世帯への見回り
- 移動販売・宅配と地域の見守り隊を組み合わせたモデル事業の実施
- 県営住宅の見守り体制の構築
- 市町村と連携して、中山間地域における介護サービス、障害福祉サービスを提供するための仕組みづくりに向けた支援
- 民生委員、社会福祉協議会、消防、県、市が一体となった地域の見守りや防災のネットワークの構築

高齢者の 生きがいづくり

- 産業の振興と高齢者の健康を目指した取組 ……取組事例3
- 「達年」介護・子育てボランティア活動支援事業
- 中高年を対象としたいいききファンド助成事業
- 小規模多機能支援拠点の整備

■（取組事例1）県、社会福祉協議会と地元新聞社等民間事業者との見守り協定の締結（高知県）



地元民間事業者
(7事業者)

(株)高知新聞社、(株)サンプラザ
こうち生活協同組合、高知ヤクルト販売(株)
四国電力(株)高知支店、高知医療生活協同組合
高知県農業協同組合中央会

3者による地域見守り協定

日頃の事業活動において、地域の住民の
異変に気づいた場合の連携体制の構築

地域の見守り体制の構築

高知県

高知県民生児童
委員協議会連合会

役
割

【民間事業者】日頃の業務において地域住民等の異変を察知した場合に、速やかに管轄の民生委員等に連絡を行う。

【協議会連合会】協定の趣旨を理解し、円滑な連絡通報体制の整備を行う。

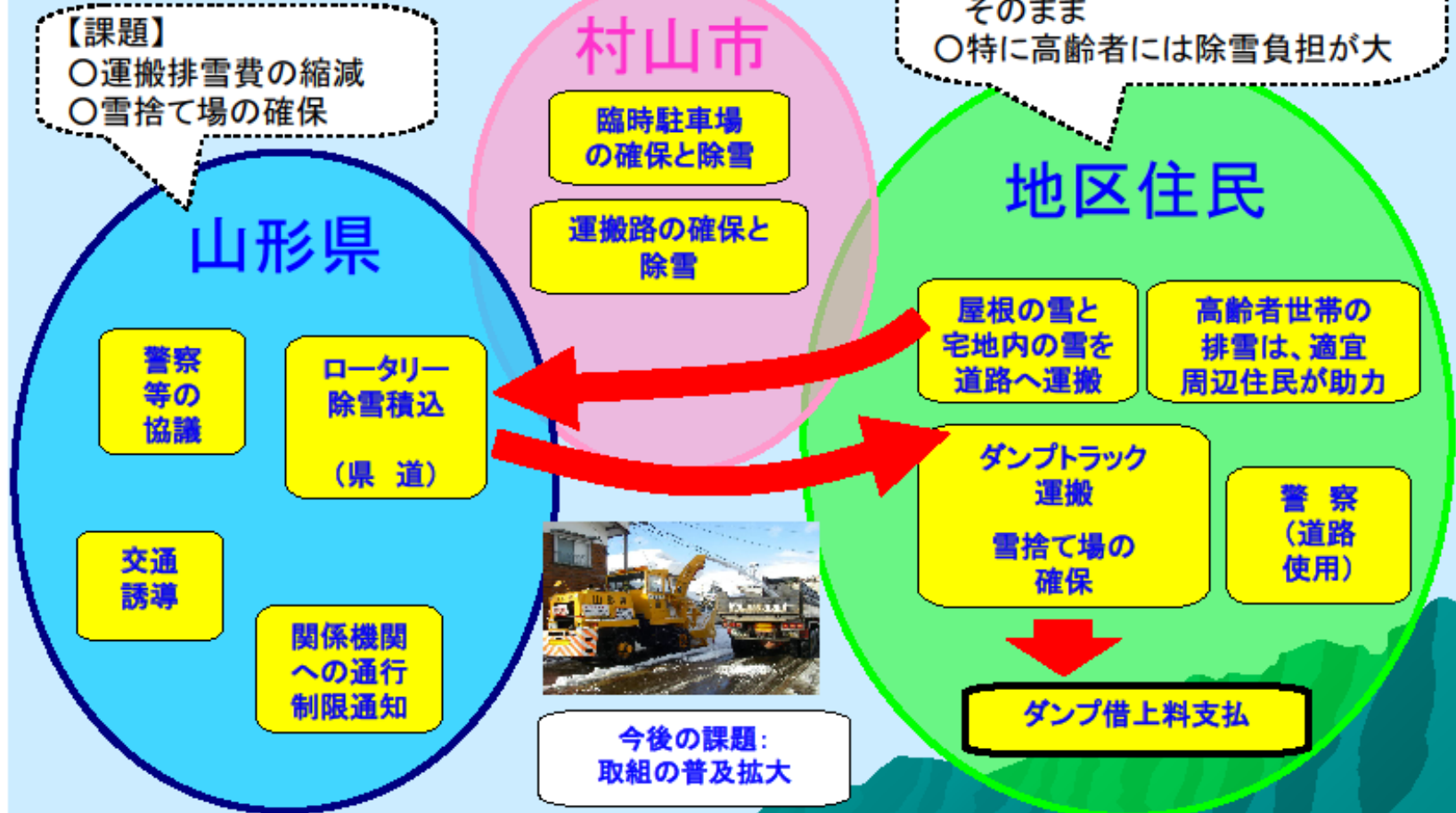
【県】市町村や関係団体と連携し、市町村における取り組みの円滑な実現を支援する。

【相互連携】情報交換会を定期的に行うなど、3者の連携の強化を図る。(3者会議の開催)

地域の支え合いの力により、高齢者等の安全・安心を確保！

■ (取組事例2) 住民と市・県による「協働一斉除排雪」(山形県)

山形県 (村山市：袖崎地区) 官民協働除排雪



住民と行政の協働による「助け合える地域づくり」

■(取組事例3)産業の振興と高齢者の健康を目指した取組(青森県新郷村)

あおもり型地域経営モデル構築事業

■目的

中山間地域等を対象に、既存の小規模集落を越えた広い範囲での新たな地域組織を構築し、コミュニティ機能の維持・強化、地域活性化を図る。(H21~H22 県重点事業)

■事業内容

(1)事業実施体制づくり

- ・人材発掘(炭焼き体験、布ぞうり製作者等)
- ・地域コミュニティ活性化協議会設置

(2)地域課題・ニーズ調査

- ・住民アンケート実施→日常生活において不便・不安に感じること「日用品や食料品の買い物」
⇒望む対策「地域内への店舗の設置」

(3)地域コミュニティ活性化の推進

①共同店開設

- ・新郷温泉館に地域住民等が共同運営する店舗を設置。

②人材のネットワーク化



村全体の動きへ

新郷むらづくりを語る会

「きのこの里日本一」、 「長寿日本一」を目指した取組

すべての村民が健康で明るく生きがいを持ち、安心して暮らすことのできる**長寿社会の実現**と、村民による村民のための**元気な“むらづくり”**を目指す。



約150人が9チームを編成し、原木しいたけを栽培。

八戸市で販売

県の働きかけから、村・村民が主体となった取組へ

Ⅲ これまでの取組事例にみる課題と成功要因

課題

視点① 買い物支援・生活交通手段の確保

- 民間の移動販売業者へ補助金を出す際の要件や対象経費の範囲
- 継続させるための仕組み
- 新規参入の場合の既存の業者への配慮 など

視点② 高齢者の安全・安心への配慮

- 介護・福祉に加え、買い物支援、高齢者の生きがいの場などを組み合わせた多機能小規模支援拠点の整備手法 など
- 住民ニーズを的確に把握するための方策
- コミュニティ活動が機能する集落の単位の設定
- 複雑化する国等の補助金メニューへの対応 など

成功要因

“地域からの発意”

【今後の研究】

地域のやる気を喚起し、地域住民自らが主体的に地域の課題を見つけ、解決に取り組む

“地域主体型コミュニティへの転換”

に導く仕組みについて研究。

(参考) 最終報告までの研究スケジュール

◇ 平成22年度

- 第1回会議 10月21日 (青森県)
- ・各県の現状・課題・取組状況に関する説明・意見交換
 - ・青森県新郷村の取組について(現地視察)

◇ 平成23年度

- 第1回会議 5月27日 (東京都)
- ・研究テーマの決定
- 第2回会議 7月13~14日 (東京都)
- ・テーマ1の研究
- 第3回会議 10月予定
- ・テーマ2の研究
- 第4回会議 1月予定
- ・テーマ3の研究



平成24年3月 最終報告